

## 2024 年度観光学部学生自治会活動報告（2024.07~2025.07）

2024 年度観光学部学生自治会

委員長 桐田理央

副委員長 青木太誠

甲斐朱乃

会計 橋本幸

### 1. 2024 年度の活動について

2024 年	7 月	2024 年度観光学部学生自治会三役発足
	8 月	学部長交渉 学生支援担当理事との交渉
	9 月	学内清掃
	11 月	和大祭(自治会企画を実施) 「秋 SUN」 Vol.63 発行
	12 月	新入生歓迎実行委員会発足 「総合案内 2024」 発行
2025 年	3 月	学内清掃
	4 月	「春 SUN」 Vol.64 発行 うえるかむ Campus 新入生ガイダンス 学生団体紹介 春の新歓まつり 第 1 回 2025 年度学生大会事前アンケート
	5 月	第 2 回 2025 年度学生大会事前アンケート
	6 月	第 3 回 2025 年度学生大会事前アンケート 2025 年度観光学部学生自治会 三役投票
	7 月	オープンキャンパスへの協力 2025 年度定期学生大会

## 2. 2024 年度定期学生大会と交渉の結果について

2024 年 7 月 17 日に開催した「2024 年度定期学生大会」で、以下の議案が可決された。

### ・観光学部独自議案

1. LPP の交通費補助と単位認定の制度について
2. 西 4 号館について
3. スタジオ I・II の利用方法について

### ・全学議案

1. 規約改正について
2. 学内 Wi-Fi について
3. 履修登録について

これらの実現に向け、2024 年 8 月 29 日に観光学部長との交渉、8 月 30 日に理事長との交渉を行った。

## 観光学部独自議案

### 第1号議案 LPPの交通費補助と単位認定の制度について

#### 【背景】

交通費補助制度については、現在の交通費の補助額が少ないことから、学生の現地での活動が制約されており、学修の機会が失われている。また、単位認定制度については、一部のプログラムでは学生個人が活動時間の報告書を作成しているため、不正が発生し、活動が正當に評価されていない。

#### 【改善案】

交通費補助制度については移動距離を問わず全ての乗車券代を一律全額支給するよう大学に交渉した。単位認定制度については成果物などによる評価、または教員による時間管理に基づいた単位認定制度の整備を大学に交渉することの二点を提案した。

#### 【交渉の結果】

交通費補助制度について、移動距離を問わず全ての乗車券代の一律全額支給を要望したところ、後援会費から捻出されている交通費の補助金は予算に限りがあり、現段階でこれ以上の補助を行うことは予算の都合から難しいとの回答が得られました。また、この現状を改善することは難しいようですが、ガイダンスやMoodleでこの現状の周知を徹底する予定であることや、この要望を後援会に伝えることは可能であるとの回答も得られました。

単位認定制度について、成果物などによる評価、または教員による時間管理に基づいた単位認定制度の整備を要望したところ、今年度からは単位認定において活動時間の評価に加えて最終レポートの提出を導入しているように、単位認定に関する評価基準は現在検討中であり、今後改善されていく予定であるとの回答が得られました。

## 第2号議案 西4号館について

### 【内容】

観光学部生が多く利用する西4号館をより快適にするため、3つの提案を行った。

#### 1. ウォーターサーバーの設置提案

ウォーターサーバーの設置は、SDGsの推進や熱中症対策に繋がるため、設置を提案。

#### 2. 新たなクッションの設置提案

西4号館T-101教室の椅子に取り付けられたクッションは、2021年度の学部長交渉により設置されたが、経年劣化が見られる。学生が快適な環境で学修できるよう、新たなクッションの設置を要望した。

#### 3. コワーキングスペースの設置提案

西4号館2階のスペースが混雑しており、静かに勉強や作業をする場所が少ないという意見があった。そこで、コワーキングスペースの設置を提案した。

### 【交渉の結果】

#### 1. ウォーターサーバーの設置提案

管理費用や管理者がいらないことから、全学部共通の問題として検討は進められていますが、すぐに設置することは難しいとの回答が得られました。

#### 2. 新たなクッションの設置提案

予算の都合上、すぐにクッションを更新することは難しいが引き続き検討しているとの回答が得られました。また、この交渉では「クッションのレンタル制度導入」も提案されました。一定数のクッションを設置し、必要な学生が利用できる制度ですが、他人が使用したクッションに抵抗を感じる学生がいる可能性もあるため、学生の要望次第で導入を検討することです。

#### 3. コワーキングスペースの設置提案

西4号館にはこれ以上設備を増設するスペースがないため、実現は難しいとの回答が得られました。西4号館以外にも学生用スペースは増設していることや、共有スペースは特定学部の学生のみが利用するものではなく、全学部生が利用可能であることが大学のホームページに記載されていることの周知を促すよう提案されました。

### 第3号議案 スタジオⅠ・Ⅱの利用方法について

#### **【背景】**

西4号館ドームシアターの1階に、レコーディングや動画編集を行うための設備があるスタジオが併設されている。しかし、多くの観光学部生はその施設の存在を知らず、一部の教員の授業や研究でしか活用されていない。

#### **【改善案】**

設備を有効活用し、観光学部生の学びの機会を拡充させるため、施設の概要や利用方法を明確化し、教育サポートシステム等への掲載を通じた周知を提案した。

#### **【交渉の結果】**

生徒がスタジオの予約を取り個人的に利用することはできないが、この先授業や研究で活用できる可能性はあるとの回答が得られました。今後スタジオの利用方法に進展があった場合は学生自治会から周知を行っていきます。

## 全学議案

### 第 1 号議案 規約改正について

#### 【背景】

サークルが学生自治会の管轄であることが明記されていないにもかかわらず、サークル援助金を学生自治会が支払っているのはおかしいと大学から指摘を受けたため、部活動やサークルに関する内容を追記する必要がある。

#### 【規約草案】

「和歌山大学学生自治会規約」の第 8 章（「和歌山大学システム工学部学生自治会規約」の第 6 章）に部活動・サークルに関する内容を追記する。それにもとない体育会や文化部連合会の明記などを追記する。その他実態に則った語句の変更を行う。この変更により皆さんの学生生活への影響を与えることはない。

#### 【交渉の結果】

学生自治会規約の改正は、大学側と交渉する必要はないため、交渉は行っていない。

## 第2号議案 学内 Wi-Fi について

### 【経緯】

和歌山大学内で使用することができる Wi-Fi (airo) は、学内における研究・教育活動、業務向けの無線 LAN 提供方式である。しかし、この Wi-Fi が研究・教育活動を行う教室で接続ができない、もしくは接続できたとしても非常に微弱で低速であるという事象が発生している。実際に、大学生協アプリを使用することの多い大学会館、学部・学環問わず多くの学生が講義を受ける東1号館、多くの学生が自習や講義に活用している西5号館や、各学部・学環生が主に講義を受ける各学部棟において Wi-Fi が繋がりにくいといった声が複数寄せられている。

このような現状から、研究・教育活動が常に十分に行われるよう、学内の Wi-Fi の見直しが必要であると考えた。

### 【改善策】

- ① 学生から Wi-Fi が繋がりにくいという声が多く挙げられているところに、優先的に airo-6G のアクセスポイントを設置することを求める。特に、現状アクセスポイントが設置されていない教室へ優先的に設置することを求める。
- ② airo-6G と従来の airo とで利用者を分散するために、airo-6G の存在を学生に周知することを求める。

### 【交渉の結果】

理事交渉の結果、改善策①については、学生大会の際に学生自治会が行ったアンケートを基に優先順位を決定し、アクセスポイントを設置していくという回答をいただきました。

改善策②については、2024 年度後期開始前に全学生に対して周知を行い、生協学生委員会主催のセットアップ講習会でも、主に新入生に対して周知を行っていくと回答していただきました。さらに、学内無線 LAN のダイジェストマニュアルを moodle で閲覧できるようにするなどの対策も実施していただくことができました。

### 第3号議案 履修登録について

#### 【経緯】

和歌山大学では、教育サポートシステムを利用して履修登録を行っている。教育サポートシステムとは、大学生活において必要な情報を管理している Web システムのことである。その教育サポートシステムが履修登録期間にサーバーダウンを起こすという事態が近年において起こっており、多くの学生が困惑している。また、新入生が履修登録のガイダンスを受けたが分かりにくく、実際に履修登録できているかどうか分からないという意見が出た。

この事態を受けて、学生によるより効率的かつ容易な履修登録を可能にするため、教育サポートシステムのシステムの見直しが必要であると考えた。

#### 【改善策】

- ① サーバーダウンが起こらないよう、教育サポートシステムの改善を求める。  
システム自体を改善することが困難なのであれば、なぜ困難なのかについての説明を求める。
- ② 今後はサーバーの過負荷を防ぎ、サーバーダウンを起こさないために、履修登録の方法を事前に詳しく説明することを求める。例えば履修登録の手順を示した動画を用いる、ガイダンスで履修登録の手順を説明するなど、実際に履修登録をする際に学生が困らないような対策を求める。
- ③ 万が一再びサーバーダウンが起こった場合には、履修登録期間の延長をするなどの措置を求める。

#### 【交渉の結果】

理事交渉の結果、改善策①については、現在改善に向けて業者などと連携して解決策を模索中との回答をいただきました。また、実際にはサーバーダウンをしているわけではなく、アクセス可能時間の縮小などによるアクセス制限が行われているとのことでした。

改善策②については、教育サポートシステム内ダウンロードセンターの学生用マニュアルに、履修登録の手順が掲載されているので、まずはそこを参照してほしいと回答をいただきました。また、ダウンロードの場所を明瞭にする、Moodle にも掲載するなどの対策を講じていくとの回答もいただきました。実際に新入生ガイダンスにて、履修登録方法などを記載したガイドを配布し、履修登録の際に学生が困らないような対策を取っていただきました。

改善策③に対しては、アクセス制限ではなく、実際にサーバーダウンが起きた場合には履修登録期間の延長を行うと回答をいただきました。